

JAしまねびより

2017

7

July Vol.16

特集 JALしまね 第3回通常総代会開催



第3回

通常総代会特集

J Aしまね第3回通常総代会を6月25日、島根県民会館大ホールで開催。総代会資料から平成28年度事業報告、平成29年度事業計画の基本方針など主な内容についてお知らせします。



議長団（杉原総代（左）、栗栖総代）



あいさつする竹下正幸代表理事組合長

総代の皆様へ
当日は、遠方より、或いはご多忙の中、ご出席いただき、心から御礼を申し上げます。
そして、全ての総代の皆様、統合からの任期中、様々な面でお世話になり、改めて感謝を申し上げます。
今後も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

当日は、総代定数1,000人（欠員15人）に対し、962人（本人出席579人、委任状13人、書面出席370人）の出席。議長団に、杉原定氏（斐川地区本部）、栗栖卓三氏（いわみ中央地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

竹下組合長が「JAしまねが発足して3年目を迎えた。一体感を一層強固なものとして、組合員・地域住民から選ばれ、頼られ、必要とされるJAとなれるよう改革を進めていく」とあいさつ。来賓の藤原孝行島根県副知事から、「農業を取り巻く環境はめまぐるしく変化しているが、JAしまねでは水稲肥料農薬価格の低減や米の買取制度の導入など、積極的に自己改革を実践している。今後も農業者所得の増大のための取り組みを続けていただくことに期待している」との溝口善兵衛島根県知事の言葉をいただきました。

また、JAしまねの発足以来、組織運営の牽引ならびに地域との橋渡し役として尽力いただいた方々の功労者表彰を行いました。



平成28年度 事業報告

平成28年度は、安倍内閣のもとデフレ脱却の兆しは見えつつあるものの、経済成長率は依然として低迷状態にあり、設備投資や個人消費等の改善には鈍さも見られるほか、マイナス金利の影響もあり、先行きの景気回復には不透明な面が見られました。

また、海外では英国が国民投票によりEU離脱を決定し、米国では政策運営能力が未知数とされるトランプ政権が発足するなど、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

TPP（環太平洋経済連携協定）については、平成28年12月の臨時国会においてTPP承認案及び関連法案が可決・成立したものの、米国トランプ大統領の就任により現政権でのTPP発効は難しい状況となっています。今後、FTA（日米自由貿易協定）交渉や、EPA（日EU経済連携協定）交渉の動向も注視し、日本の「食」「農」「協同組合」の重要性をアピールする運動を引き続き展開していく必要があります。

組織情勢では、平成28年4月に新農協法・政省令・監督指針が施行されました。また、農協法附則において、政府は准組合員の事業利用規制の在り方について、5年間、正組合員及び准組合員の組合の事業の利用の状況並びに改革の実施状況についての調査を行い、

検討を加え結論を得ることとしています。

JA自己改革については、農協法5年後検討条項をふまえ、JA全国大会決議である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重点課題として取り組んできましたが、大会実践期間である平成31年3月までに着実に実践し、十分な成果を上げ、組合員やJAグループ外部からの評価を高めていくことが不可欠となっています。

こうした状況の中、平成28年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」初年度として、営農指導と経営指導を通じて、組合員・生産者の所得向上に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が38,259百万円、購買品供給高が34,092百万円、貯金残高が994,007百万円、貸出金残高が308,072百万円、長期共済保有高3,659,406百万円となりました。

財務状況については、内部留保に努め、自己資本比率は15.21%となりました。

収支面については、事業利益が1,050百万円、経常利益は2,014百万円となり、当期剰余金は1,295百万円となりました。主な事業活動と成果の詳細については次ページのとおりです。

■貯金残高	994,007	百万円
■貸出金残高	308,072	百万円
■長期共済保有高	3,659,406	百万円

自己資本比率 **15.21%**

■事業利益	1,050	百万円
■経常利益	2,014	百万円
■当期剰余金	1,295	百万円



組合員の状況

(1) 組合員数

(単位：組合員数)

資格区分		当 期 首	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末	
正組合員	個 人	66,407	918	2,460	64,865	
	法 人	農事組合法人	193	6	3	196
		その他法人	191	14	2	203
	計	66,791	938	2,465	65,264	
准組合員	個 人	164,553	4,207	3,276	165,484	
	農 業 協 同 組 合	1	0	1	0	
	農 事 組 合 法 人	24	1	1	24	
	そ の 他 の 団 体	1,889	26	26	1,889	
	計	166,467	4,234	3,304	167,397	
合 計		233,258	5,172	5,769	232,661	

(2) 出資口数

(単位：口)

資格区分		当 期 首	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末	
正組合員	個 人	17,180,472	319,811	625,227	16,875,056	
	法 人	農事組合法人	25,872	362	506	25,728
		その他法人	31,765	3,879	2,309	33,335
	計	17,238,109	324,052	628,042	16,934,119	
准組合員	個 人	5,569,760	307,335	238,378	5,638,717	
	農 業 協 同 組 合	3,650	0	3,650	0	
	農 事 組 合 法 人	1,785	11	80	1,716	
	そ の 他 の 団 体	91,987	4,051	839	95,199	
	計	5,667,182	311,397	242,947	5,735,632	
処分未済持分		157,964	128,177	157,964	128,177	
合 計		23,063,255	763,626	1,028,953	22,797,928	

適要：(1)出資一口金額 1,000円

(2)当期末払込済出資総額 22,797,928,000円

財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区 分	項 目	平成27年度	平成28年度	
財 務	事 業 利 益	917	1,050	
	経 常 利 益	1,878	2,014	
	当 期 剰 余 金	1,266	1,295	
	総 資 産	1,091,408	1,104,465	
	純 資 産	78,907	77,982	
信用事業	貯 金	978,185	994,007	
	預 金	480,794	498,551	
	貸 出 金	307,875	308,072	
	有 価 証 券	国 債	89,969	82,394
		そ の 他	88,998	88,894
共済事業	長期共済保有高	3,779,540	3,659,406	
	短期共済新契約掛金	10,227	10,267	
購買事業	購買品供給高	35,004	34,092	
販売事業	販売品販売高・取扱高	36,512	38,259	

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

第3事業年度 剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,040,764,952
2. 剰余金処分額	1,551,763,041
(1)利益準備金	260,000,000
(2)任意積立金	952,000,000
農業振興積立金	150,000,000
農業災害積立金	100,000,000
米価格変動積立金	200,000,000
教育研修充実積立金	50,000,000
信用事業システム開発積立金	50,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
経営安定化積立金	152,000,000
施設等更新積立金	50,000,000
(3)出資配当金	339,763,041
3. 次期繰越剰余金	489,001,911

(注1) 出資配当金は年1.5%の割合です。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額64,757千円が含まれています。

主な事業活動と成果

【農業振興】

JAしまね農業振興支援事業において平成28年度から新たに「魅力ある産地づくり支援事業」を新設し、「農業戦略実践3ヵ年営農計画」の重点事項である園芸推進5品目の拡大支援やしまね和牛増頭支援、島根デラウェア改植促進支援をメニュー化し、農業生産額の拡大、農業所得の増大に取り組みました（支援額5億8百万円）。

【販売事業】

<米 穀>

米穀は平成28年度の島根県における水稻の作況指数が104（前年98）となり、主食用予想収穫量は91,300トンで前年比3,300トンの増加となりました。また、28年産米から島根米の買取制度を導入し、集荷数量は平成29年3月末現在で40,572トンとなり、前年を上回る結果となりました。



アグリマーケティング2016

<園 芸>

島根ぶどうが共販60周年を迎え、販売面で積極的に推進した結果、デラウェアは過去最高の単価となりました。



<畜 産>

品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組むとともに、JAしまね農業振興事業により繁殖雌牛増頭運動の実施や販売強化に努め、平成28年度の子牛市場上場頭数が5,231頭（前年対比100.2%）となり、4年ぶりに前年を上回る結果となりました。



【資 材】

肥料・農薬・飼料について、水稻肥料・農薬の銘柄統一や値下げ等を通じ、低価格による供給を進めました。

【信 用】

島根県産農畜産物プレゼントキャンペーンを実施し、貯蓄推進に併せ農畜産物消費拡大に取り組むとともに、貸出金では認定農業者支援資金により農業担い手支援を行いました。

【共 済】

契約者へのフォロー活動や、JAしまねこども倶楽部を通じた次世代対策を通して、地域への安心満足の提供と信頼の獲得に取り組みました。

【くらしの活動】

豊かでくらしやすい地域社会の実現のため、家の光の購読拡大運動をはじめとした教育文化活動、JA女子大学の開催や児童を対象とした食農教育（アグリキッズ）などを通じた「生きがい、ふれあいづくり」、健康に対する意識向上と体力づくりの促進などに積極的に取り組みました。これらの活動が評価され、平成29年2月に「第67回家の光文化賞」を受賞することができました。



あぐりスクールでの牧場体験



JA女子大学



家の光大会

平成29年度 事業方針

農業振興

方針

平成28年6月に開催した第2回通常総代会で決議された「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた農業振興に係る具体的な行動計画や数値目標に沿って、JA役員と組合員が一体となって取り組みを進めます。

計画達成に向け、営農指導体制の強化や担い手支援体制の確立、JA独自の農業振興支援事業による生産基盤強化等をJAとして行うことに合わせ、県や市町村と連携した地域農業の振興により、産地活性化と農家の手取り最大化の実現に努めます。

特に、平成30年産からの農政改革に向けて、島根県産米の生産方針について県再生協議会を中心に、県、市町村、地域再生協議会と連携し、農家所得の向上につながる米生産計画、新規需要米による生産調整等をJAも一体的に進めます。

また、島根農業の中心的な担い手である特定農業法人、集落営農、大型担い手農家等への農地集積による効率的農業の普及と会計支援システムの更新を図り、記帳代行やデータ提供による組合員の利便性向上と経営分析による経営の安定化に努めます。

継続性のある水田営農の実現に取り

組むとともに、園芸5品目と和牛繁殖産地再生による複合的な営農形態を通じた農家所得向上を重点的に取り組みます。

重点事項

- ①「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現
- ② 営農指導体制整備
- ③ 担い手支援
- ④ 農業経営管理支援
- ⑤ 労災保険加入支援
- ⑥ JAしまね農業振興支援事業

全般

くらしの活動

安心して暮らせる豊かな地域社会の実現を目指して、女性組織、青年組織をはじめ、組合員や地域住民の参加によるくらしの活動に取り組みます。取り組みに際しては、組合員の多様なニーズについて、アンケート調査等を通じて把握するとともに、アクティブ・メンバーシップ（組合員が積極的にJAの事業や活動に参加すること）の確立を目指して、活動の質の向上と参加

者の満足度の向上に努めます。

販売事業

しまねブランド商品として県産農畜産物の販売力強化に向けて取り組みとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料事業を積極的に取り組み、地域の活性化にも貢献するとともに、より一層のサービスの充実にも努めます。

信用事業

「利用者満足度向上から事業利用拡

大への循環をつくり、島根の豊かな農業と活気ある地域を守るJAバンク」の実現のため、JAバンク自己改革「3本の柱」の完遂を目指します。

また、マイナス金利政策導入により信用事業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、コスト削減を図りながら本店・地区本部が一体となって事業戦略を展開し、JA信用事業基盤の維持・拡大に取り組みます。

- ① 農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応
- ② 信用事業の効率化
- ③ 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供

共済事業

組合員・利用者への「安心」「満足」の提供と信頼を獲得するため、事業実施体制のさらなる高度化及び平準化に取り組みながら、組合員・利用者はもとより、新規利用者拡大に向けた積極的な取り組みと、地域農業・地域社会への貢献を目的とした事業活動を展開します。

また「JAしまね共済事務センター」設置による事務の合理化及び効率化、自動車事故相談体制の充実強化を図り、「最良品質のサービス」提供を目指します。

功 労 者 表 彰

JAしまねの発足以来、役員として組織運営の牽引ならびに地域との橋渡し役として尽力され、新生JAの礎を築かれた退任役員の方々の功績を讃え、功労者表彰を行いました。



功労者を代表して
あいさつする萬代宣雄氏

当日出席された功労者の方々
(左から萬代宣雄氏、堀川栄市氏、米原稔氏、周藤昌夫氏、橋本正嗣氏、佐々木勘次氏、長岡昌利氏、足立幹男氏、築橋良治氏)

功 労 者 表 彰 名 簿

平成28年6月退任の皆様

在任時の役職

選出地区等

田中彰	服部千津子	岡崎時明	築橋良治	中島一	武田俊吉	石飛正登	足立幹男	長岡昌利	長崎勉	杉谷勤	長廻英夫	松浦嘉昭	佐々木勘次	戸谷宣義	橋本正嗣	周藤昌夫	米原稔	堀川栄市	萩尾秋光	内田孝志	玄行政美	萬代宣雄
監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	代表理事組合長
本店(女性協)	西いわみ	島根おち	斐川	出雲	出雲	出雲	出雲	雲南	雲南	くびき	くびき	いわみ中央	くびき	西いわみ	斐川	出雲	隠岐どうぜん	隠岐	雲南	本店	出雲	

雲南

空き店舗活用 地域住民の憩いの場

雲南市三刀屋町中野地区にある中野の里づくり委員会(深石広正会長)による直売所「笑(え)んがわ市(三浦由美子代表)」が6月8日に6周年を迎え、約70人が訪れました。売店の横にはサロンが併設されており、地元スタッフや利用者から持ち込まれた手料理や、コーヒーなどが200円で振舞われます。毎週木曜日に営業しており、地域住民の憩いの場となっています。

2010年10月に中野地区唯一の商店だった、旧JA雲南中野店舗が閉店。地元の女性活動グループが、JAの空き店舗を利用して地元の野菜や特産のこんにゃくを取り扱えないか提案し、同委員会や中野地区のJA女性部、地元有志が集まり、産直市運営を企画しました。

三浦代表は「スタッフを含めた全員が楽しんでいるからこそ、続けられています。この雰囲気を大切にしたいです」と話しました。



賑わいを見せるサロン

くにびき

宍道支店で年金感謝デーに トラック市が開催！

くにびき地区本部宍道支店とくにびき産直出荷者協議会宍道支部は、6月15日の年金感謝デーにあわせて、軽トラックの荷台で野菜や果物を販売する「トラック市」を同支店前で開きました。夏野菜や加工食品を販売し、来店客は思い思いに買い物を楽しみました。



来店客が増える年金感謝デーに、地元農産物のPRに繋がってもらおうと、昨年から隔月で開催。野菜の販売以外にも、くにびき女性部宍道支部の部員が支店内にカフェを設けて、来店客をもてなします。

当日は、同協議会宍道支部の会員7名がナスやトマト、加工食品を持ち寄り、トラックの荷台に陳列。開店と同時に多くの人を訪れ、1時間もかからずに商品が売り切れました。また、特設カフェではリングジュースとショウガで作った「リングショウガかん」(家の光2月号参照)と抹茶を振る舞い、訪れた客は「お茶がおいしかった」と満足そうでした。同



支部の杉井キミエ部長は「多くの人に喜んでもらえて嬉しい。今後もいろいろなもてなしを考えたい」と話しました。

隠岐

島外視察研修で 椎茸栽培技術の向上を図る

隠岐農産物生産者協議会の椎茸部会は6月14日～15日の2日間、椎茸栽培技術の向上などを目的として島外視察研修会を行い、会員やJA職員など12人が参加しました。

研修初日には、鳥取市にある「日本きのこセンター」が運営管理している椎茸ほだ場を、同センターの場長と所長の説明を受けながら視察しました。会員らは、椎茸栽培の方法についてなど活発に質問していました。その後、JA全農主催の生産者交流会に出席し、椎茸生産の楽しさや厳しさについて意見を交わしました。

2日目には、鳥取県の県民体育館で開催されたJA全農主催の乾椎茸品評会に参加しました。同部会の会員も出品しており、「こうしん中葉中肉の部」で宇野武夫さんが全農理事長賞を受賞しました。品評会には全国から高品質の乾椎茸が多数出品されており、今後の椎茸栽培の参考となりました。



椎茸ほだ場で説明を受ける参加者

やすぎ

いもイモ★大作戦今年も好評

やすぎ地区本部が安来市穂日島町の中海干拓地で食育と地産地消の推進を図ることを目的に毎年開催している、サツマイモの苗植え体験イベント「いもイモ★大作戦」が今年も好評です。

6月4日に市内外から40家族、約130人が参加し、JAの営農指導員から説明を受けながら一区画10本の「べにはるか」の苗を定植していきました。今年によりサツマイモについて知ってもらおうと、栽培管理の他、品種の特徴や苗の説明などを詳しく掲載したサツマイモ栽培マニュアルをJAの担当者が手作りで作成し、配布しました。

親子で参加した女性は「去年は収穫だけだったが、子どもが楽しんでいたのが今年は定植から挑戦した。秋の収穫が楽しみ」と話しました。今後は収穫まで各自で除草作業などの管理をし、秋には収穫祭や重さを競うコンテストも行う予定です。



斐川

ぶどう集荷所開所式を開催

斐川町ぶどう生産組合は6月9日、出雲市斐川町の中央集荷所で29年産の斐川ぶどうの集荷所開所式を行いました。29年産は昨年より早い出荷開始となり、品質も良いものとなっています。

同生産組合の矢野恵司組合長は「難しい天候の中、質の良いぶどうが出荷できた。梅雨に入り、これからはより雨との戦いとなる。今年は斐川ぶどう共同販売60周年を迎える年であり、体に気をつけて農家の方々が笑顔で良かったと言える年にしたい」と挨拶しました。

また、斐川町のぶどうをPRしてもらうため、出雲市役所斐川支所の青木昭支所長と斐川地区本部の山根善治本部長へ斐川産デラウェアを贈りました。



斐川産ぶどうを受け取る青木支所長(左)と山根本部長(左から2人目)

隠岐 どうぜん

保育園児が田植えの見学会

隠岐どうぜん地区本部の海士支店では6月12日、保育園児を対象とした田植えの見学会を行い、海士町のけいしょう保育園の年長組19人が参加しました。

この見学会は、次代を担う子どもたちに食の大切さなどについて学んでもらう食農教育の一環として毎年実施しており、4月の種まきの見学に続いて、今回は田植えの見学を行いました。

当日は天候に恵まれ、営農指導員の本多安則職員から田植え作業について説明を受けた後、同職員が所有する圃場で乗用田植機による実際の田植えの様子を見学しました。子どもたちは田植え作業よりも田植機に興味津々の様子で、田植機についてのいろいろな質問をしていました。

秋には稲刈りと籾摺りの見学会も予定しています。



田植の様子に興味深く見つめる園児たち

石見銀山

あぐりスクール生き物調査

石見銀山地区本部は6月17日、今期2回目の「あぐりスクール」を開きました。11家族27人が参加し、前回植えた野菜や米の生育状況を観察した後、農事組合法人やまべの水田で生き物調査をしました。当日はドローンを使った空撮をしました。動画は同地区本部農産課のフェイスブックに掲載する予定です。

網とバケツを手手に田んぼに入り、カエルやイモリ、ミズカマキリなど約20種類の生き物を捕まえ、班ごとに発表しました。参加者は「いっぱい生き物を見つけられて楽しかった」「見つけるのが難しかった」「田んぼの中がぬるぬるだった」など感想を話しました。

生き物調査を終えると、JAしまね石見銀山女性部大代支部が用意したエコロジー米のおにぎり、大田産の具材を使った豚汁を味わいました。



生き物調査をする参加者

出雲

出雲コーチン利用促進協議会設立 地鶏のブランド化を目指して

絶滅の危機に瀕している地元の鶏「出雲コーチン」を保存し、ブランド化を図るため、出雲コーチン利用促進協議会が設立されました。島根県畜産技術センターで6月15日、設立総会が開かれ、JA、行政機関、島根県立出雲農林高校、畜産農家ら30人が出席しました。

「出雲コーチン」は、大正から昭和にかけて出雲地方を中心に飼育されていましたが、その後飼育数は減り、一時は数羽にまで減少。農林高校の生徒がこの状況を知り、研究課題として増殖への取り組みを開始しました。そこに地鶏の生産販売に意欲的な市内の畜産農家が加わり「出雲コーチン」復活に向けた活動が始まりました。平成28年7月に畜産技術センター、農林高校、畜産農家、JAで第1回出雲コーチン利用促進打合せ会議が開かれ、その段階で確認できた「出雲コーチン」は17羽。順調に飼育され、現在は120羽以上に拡大しています。

平成29年度は、原種の維持・利用のルール化の検討や、地鶏生産のための交配種選定などに取り組む計画です。産官学連携で、「出雲コーチン」を軸としたブランドの確立を目指します。



畜産技術センターふれあい動物広場の出雲コーチン

西いわみ

益田市長へ シャインマスカットを贈呈

西いわみ地区本部ぶどう部会（部会長福原博）は6月5日、益田市役所を訪れ益田市のPRに役立ててほしいと山本浩章市長にシャインマスカットを贈呈しました。

同部会の福原博部会長、同部会青年部の岩崎崇司部長、西いわみ地区本部の田村清己本部長が益田市長と面会し、超早期加温栽培を行ったシャインマスカットを手渡しました。

シャインマスカットを試食した山本市長は「口の中でシャインマスカットの香りが広がってとてもおいしいですね」と感想を話しました。

全国では長野県、山梨県、岡山県に次いで、5月25日に初出荷が行われ、また5月の出荷は島根県が2006年にシャインマスカットを導入以降初めての事となりました。



山本市長（左）にシャインマスカットを手渡す福原部会長

本店

アグリレディース大学を開催

JALまね女性部は6月6日～8日の3日間、「第11回アグリレディース大学」を開催し、県内各地から女性部員など29人が参加しました。

この企画は、女性部員が地域や世代を超えて交流・情報交換することにより仲間意識の輪を広げて親睦を深めるとともに、見識を広め女性部活動の活性化を図ることを目的に2年に1回開催しています。

11回目となる今年度は九州を視察先に選び、熊本地震被災地を訪れて震災への備えや復興支援について学ぶとともに、防災に対する意識を高め、万一のための女性組織活動をすすめる契機としました。

JALまね女性部は今年4月に県単一組織として発足しました。今後も様々な活動を通して仲間づくりの輪を広げ、女性部の活動の基本である「食と農を基軸とした活動」などの充実をはかっていくとしています。



被災した熊本県の藤木牧場で藤木亨大代表取締役（左）から説明を聞く女性部員

島根おおち

スーパー「スパーク」 役職員が管内産地を視察

島根おおち地区本部米穀農産課は、6月27日、広島市内のスーパー「スパーク」の役職員6人を招き、出荷している野菜について理解と関心を持ってもらうため管内の農地を視察案内しました。

「スパーク」とは、野菜の出荷をはじめ、11月から約1ヶ月間で管内産のもち米の宣伝のため職員数人が交代で店舗前で杵つきもちの実演販売を行うなど30年以上前から交流しています。

視察したのは、出羽地区にあるミニトマト農家や高原地区にある農事組合法人星ヶ丘の中ナス、白ネギの圃場と島根おおち地区本部の野菜の集荷場、米倉庫、牛舎といった施設などです。

スパークの役職員は「産地を実際に見ることが出来て非常によかった。直接農家と情報交換し、生育を確認することができ、大変勉強になった」と話されました。



いわみ中央

かわピコまつり盛大に開催！

江津市後地町の道の駅「サンピコどうつ」で6月17日～18日の2日間、「かわピコまつり」が開催されました。「サンピコ」は海彦（うみピコ）、山彦（やまピコ）、川彦（かわピコ）の三人に由来しており、それぞれ海の幸、山の幸、川の幸を象徴しています。この祭りではその名のとおり、清流「江の川」の幸である若鮎のつかみ取りや鮎の塩焼き、川魚の天ぷらなどの販売が行われ、多くの来場者で賑わいました。

また、18日には、同道の駅内の産直市場のレジ通過者が100万人を突破し、100万人目となった江津市江津町の主婦中谷葵さんに記念品が送られました。いわみ中央地区本部からは井上宗治本部長が「石見白いるかの舞（コシヒカリ10kg）」を記念品として贈呈しました。

中谷さんは、若鮎のつかみ取りを楽しみにご主人と長男とともに訪れていて、「山口県岩国市から転居して6月1日に江津市民になったばかりで感激しています。産直市場は野菜も魚介も新鮮で安心できるので、今後も利用したいです」と喜んでいました。



井上本部長（右）から記念品を受け取る中谷さん家族

「しまね夏の花」品評会開催

とき

平成29年

7/29(土)・30(日)

29日(土)

一般展示 9:00~16:00
表彰式 9:30~10:00

30日(日)

一般展示 9:00~15:00
※展示の即売も行います。

ところ

ゆめタウン出雲 東館太陽の広場 (出雲市大塚町650-1)

「私たちが選んだ花」賞を決定!!

ご来場の際、一番良いと思われた花に投票してください。

一番多かった作品に投票された方の中から抽選で粗品をプレゼント!!

無料で
体験!!

親子フラワーアレンジメント教室開催!!

親子で島根の花を中心にしたフラワーアレンジに挑戦してみませんか?

(公) 日本フラワーデザイナー協会島根県支部が講師!

作った作品とともに「しまねっこ」と記念撮影!

※「しまねっこ」の来場は7月30日回のみです。

両日、午前・午後各1回
各10組まで

主催：島根県農業協同組合・島根県花き生産者協議会

後援：島根県・島根の花振興協議会・ゆめタウン出雲・しまね花商組合・JAアグリ島根

■この件に関するお問合せは JALしまね 米穀園芸部園芸課 TEL:0853-25-8694

農林大オープンキャンパス 「緑の学園」参加者募集

見て触れて農林大の風・土・緑を感じてみませんか!

7/28(金)・8/2(水)・6(日)・21(月)

大田市と飯南町の両キャンパスで開催



- 農林大学校では学生募集の一環として、高校生をはじめ、本校の学習・研修に興味を持っている方を対象に、オープンキャンパス「緑の学園」を開催します。
- 体験実習は、有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛・林業コースがあります。
- 各実施日の7日前までに申し込みが必要です。
- 詳しくは農林大学校のホームページ、または島根県立農林大学校 (TEL0854・85・7012) まで。

組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法（法第35条の5）および農協法施行規則（第81条）に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を受け付けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて右記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先：住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地1

Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp

部署名 監査部

受付 監事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受け付けていますのでご利用ください。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

平成29年度JALしまね

西いわみ地区本部 総代説明会開催



JALしまね西いわみ地区本部総代説明会を6月17日、益田市元町の益田市立市民学習センターで開催しました。

総代82名が出席し、第3回JALしまね通常総代会議案ならびに西いわみ地区本部総代会資料について説明をしました。

質疑においては、平成29年度計画にある「組合員とJALしまねの親近感の醸成」に具体的にどのような取り組みのか、新規就労者の具体的支援策はあるが中山間地域の組合員、また高齢の組合員に対して、明確な支援をお願いしたい。西いわみ地区本部で独自販売しているヘルシー元氣米について生産者への還元をわかりやすくしてほしい。地区本部ごとの事業運営を行う中で、県内役職

員が一体感をもって組合員が発展できるようお願いしたい、などの質問ご意見ご要望をいただきました。

西いわみ地区本部として管内組合員のご意見を本店に繋げ、これからも支店運営委員会等を活発に行い、組合員の意見を受けとめて本店主催の理事会等の各種会議で活かしていくことで、一体感のある事業運営に繋げていきます。

西いわみ地区本部組織概況

組合員数

正組合員 7,000人
准組合員 13,594人

役員数

理事 5人
(うち常勤2人)
地区本部運営委員 19人

職員数

297人
(うち正職員186人)
平成29年3月末現在





赤雁の里で「農村歳時記」開催

J Aしまね西いわみ地区本部と(有)赤雁の里(代表渡邊哲朗)は、6月11日、益田市赤雁町の農村公園「赤雁の里」で稲作体験を開き、参加児童らが田植えを体験しました。

「農村歳時記」は食農教育の一環として行うイベントで、春の田植え、夏の田んぼの生き物調査、秋の稲刈り、収穫祭と年4回シリーズで、平成13年から行っています。

当日は市内などから参加した児童や保護者、関係者など約30名が、県西部農林振興センター益田事務所川岡達也普及員から指導を受けながら田植えを行いました。

併せて県飲食業生活衛生同業組合益田支部青年部が主催した泥んこスポーツが行われ、参加者が田んぼでドッジボール大会を楽しみました。

また、田植えを終えた児童らは、地元の特産品などを賞品とした泥んこ宝探しを楽しみました。最初は恐る恐る田んぼに入っていた児童たちも最後は「とつても面白かった。またやりたい」と感想を話していました。

次回は夏に田んぼ周辺の生き物調査を行う予定です。

田植えの様子



泥んこドッジの様子



宝探しに夢中です



参加者のみなさん



特産のミニトマトを使用したトマト寿司 販売開始



自慢のトマト寿司 ゼヒ食べてみてください

島根県農業協同組合六日市加工所では、鹿足郡吉賀町特産のミニトマトを使用したトマト寿司を加工し、同町の道の駅で6月1日より販売しています。

同加工所は、平成6年に立ち上げたJ Aしまね西いわみ女性部六日市ブロック(ブロック長森元ミサ子)のメンバーで組織された六日市特産加工グループで、六日市特産のミニトマトを使ったトマトジャム、トマトピューレ、トマトドレッシングを開発し販売してきました。ここ近年はミニトマトをご飯ものに加工できないかと試行錯誤した結果、トマト寿司が完成しました。加工所のメンバーは「地元の食材にこだわった商品で、さわやかなトマト風味のお寿司です。お子さんにもおすすめですよ」と話しました。

今年も6月から9月中旬まで同道の駅でのみ販売する予定です。

西部開バイ農産物 即売会を開催

益田市西部農地開発地区営農組合(組合長岩本和雄)は6月17日、益田市喜阿弥町の市立開発地営農研修センターで恒例の農産物即売会を開きました。

同地区で採れた新鮮な野菜や果物などを販売し、生産者との交流を図ろうと行ったもので、当日はアムスメロンやトマト、ぶどう、キュウリのほかバラ花も並び、価格も市価より安いとあって多くの買い物客で賑わいました。

農産物を購入された方にはプレゼントが当たる抽選会が行われ来場者に喜ばれました。



来場者で賑わう会場の様子



島根県特定農業法人ネットワーク通常総会開催

島根県特定農業法人ネットワーク（会長糸賀盛人）は、益田市幸町の三好家旅館で6月15日、第17回通常総会を開きました。

平成28年度活動報告および収支決算の承認について、平成29年度活動計画案および収支予算の決定について協議され承認されました。

活動計画案には、U・イターン者等の新たな人材育成、確保、組織間の連携等、会員組織の維持・発展に向けた活動を行っていくことなどが盛り込まれており、糸賀会長はあいさつで「みなで意見を交わし合い、協力しながら農業を盛り上げていきたい」と話しました。

また、翌日16日は、益田市上黒谷町にある農事組合法人横尾衛門（代表豊田島夫）で視察研修が行われ、県内から32の農事組合法人が参加し、現在に至るまでの取り組み等について参加者に説明しました。

豊田会長はあいさつで「この土地を守りたい一心ではじまった。法人で働く若者や女性が生計を立てていけるように、これからも力を注いでいきたい」と話しました。



総会の様子



糸賀盛人会長



あいさつする豊田代表



視察の様子



視察の様子



水田放牧の様子

県西部の3地区本部女性部ふれあい研修開催

J Aしまねの西部3地区本部の女性部が合同で研修会を開きました。

この合同研修はJ A女性組織同士の交流と親睦を深め、活躍の輪を広げようと平成25年度から始めたもので、今回が5回目です。

邑智郡の島根おち女性部、江市津市および浜田市のいわみ中央女性部、益田市および鹿足郡の西いわみ女性部から女性部員やJ A役員ら70名が参加。鹿足郡津和野町の津和野駅横のS L前で、記念写真を撮った後、本通りを中心に津和野の町を散策し、各地区本部女性部員と交流を深めました。また、同町の津和野町コミュニティセンターで和紙人形作りを体験。細かな作業もありましたが、部員同士協力しながら人形を作り上げました。

午後からは太鼓谷稲成神社へ参拝後、堀庭園の見学を行いました。美しい庭園を見学しながら、夏の風情を楽しみました。

最後に、西いわみ女性部の和田部長から益田市特産のユズを使ったゆずゼリーと手作りのアクリルたわしをお土産として渡しました。



散策の様子



参加したみなさん



堀庭園を見学



上手にできました



まちむらネットワーク

吉賀町注連川で田んぼの生き物調査開催

鹿足郡吉賀町注連川で6月17日、有機農業を手がける生産者の会「注連川の糧」(代表土井義則)が主催して、田んぼの生き物調査を開きました。

環境や生き物を大切にすることや有機栽培により多様な生き物が棲む環境を知ってもらおうと同会が平成19年度より始めたもので今回が11回目となります。当日は吉賀町、津和野町、広島県などから幼児から小学生までの子供と保護者約100人が参加し、地元の吉賀高校の生徒が運営に協力しました。

この調査で確認した生き物の種類は全部で32種類で珍しいシユレーゲルアオガエルやアカハライモリ等、有機栽培の水田や周辺の水路で捕まえました。

参加した子供たちは「たくさん種類の生き物がいておもしろかった」と話しました。



あいさつをする土井義則代表



カエルつかまえたよ



みんな夢中で生き物を探します



参加したみなさん



地元の米でつくったおにぎりサイコー!

特産わさび掘り取り体験を開催



ワサビを掘る参加者

特産のワサビ栽培が盛んな益田市匹見町石谷で6月3日、ワサビの掘り取り体験会が開かれ、県内外の参加者が生産者や地域住民

と交流を深めました。

同町の民泊、地域おこし、加工グループなどの団体が連携し平成20年3月に誕生した「ひきみ田舎体験推進協議会」が主催、地域の加工グループや自治会などが協力し今回で8回目を迎えました。

県内をはじめ広島、山口から参加した32名が同イベントを楽しみました。

参加者らはワサビ生産者の村上峰雄さん所有のワサビ畑で、定植から一年半たち大きく育ったワサビの株をクワで掘り取り、地元加工グループ員の指導のもと「わさびの醤油漬け」の調理を体験しました。昼食では地元で採れた山菜や野菜、手作りコンニャクを使った田舎料理を味わいました。

内容連合自治会の大賀明会長は、「参加者の皆さんが来るのを首を長くして待っていた。ワサビの味を楽しんでほしい」と話していました。

訪問ヘルパー資質向上のための研修会を開催

J Aしまねヘルパーステーションにじヶ丘は、6月14日益田市駅前町のJ Aしまね西いわみ地区本部で訪問ヘルパー資質向上のための排泄介助に関する研修会を開催しました。

この日は、ヘルパーとにじヶ丘職員合わせて28人が参加し、ユニチャーム(株)中国支店エリアマネージャーの岩崎達也さんを講師に迎え、介護用オムツの正しい使い方を勉強しました。「日頃から介護に携わる職員の大変さを少しでも改善するためには、日頃から使っている商品に慣れること、工夫、学習することが大切」と話しました。

参加したヘルパーは「細かなところまでよく理解できた。利用者の方に快適に過ごしていただくための自信をもって仕事に活かしていきたい」と感想を話しました。



熱心に話を聞くヘルパー



年金友の会益田支部総会開催

J A 年金友の会益田支部（支部長寺井友延）は6月20日、益田市有明町の県芸術文化センターグラントワで第3回の総会を開催し、657名の会員が出席しました。

平成28年度活動報告と平成29年度活動計画の説明がありました。

同支部では今後の予定として、大相撲岡山場所を観覧できる寿ロード開催のほか、グラウンドゴルフ、ふれあい旅行を計画しています。

また、寺井支部長はあいさつで「健康が一番。出会いを楽しみに、また糧として皆さんの生活に潤いを与えてほしい」と話しました。

総会終了後には、益田市出身の野上みさよ歌謡ショー、落語家の笑福亭純瓶氏による爆笑落語

会と題した記念講演、

鹿島劇団市川富士夫
シヨを楽しみました。



総会の様子



あいさつする
寺井支部長



野上みさよさんの歌謡シヨ

J A 女子大学で J A 多品目選果場を見学



見学の様子

J A 女子大学西いわみ校は6月13日、第10回目の講義として「J A 多品目選果場見学」を行いました。

当日は、西いわみ地区本部営農経済部指導販売課の職員が講師となり、選果場の施設の仕組みや機械などの説明を受けました。

参加者は熱心に選果場やアムスメロンについて質問していました。また、選果場近くのメロンハウスも見学し、アムスメロンはミツバチの交配によって受粉させていることや、下から10番目あたりの葉の近くの実だけを残して栽培していることなどを教わりました。

参加者は「センサーで瞬時に糖度を図る機械に驚いた」「機械一台がとても高額なもので驚いた」など、感想を話しました。

次回は、8月に匹見へ出向き「ブルーベリー摘み取り体験」を行う予定です。

年金友の会 匹見支部総会開催

J A 年金友の会匹見支部（会長村上鶴美）は6月6日、益田市匹見町匹見タウンホールで第33回の総会を開きました。

当日は会員ら約110名の参加があり、平成28年度の活動と収支決算報告があり、平成29年度活動案の説明がありました。

大会では、明るい家庭、明るい社会づくりを努めることや、健康に過ごし友の会の輪を広げることを申し合わせました。

総会終了後はアトラクションに鹿島壽一座を招き、一座の舞踊と人情芝居を楽しみました。



あいさつをする村上鶴美会長

J A 女性部美都ブロックが ミニデイサービスを開催



J A 女性部美都ブロック（ブロック長元岡タツ子）は6月15日、益田市美都町の東仙道地区振興センターでミニデイサービスを開きました。

地域貢献活動の一環として、地域組合員や利用者に健康指導やふれあいの場を提供しています。

今回初めて、農林漁業団体退職者連盟美都支部総会とあわせて開催され、総会終了後は、益田市レクリエーション協会の積田正江会長を講師に招き、頭と手を使った体操やゲームを楽しみました。お昼は女性部美都支部の部員が作った手作り昼食を参加者全員でいただきました。

参加者からは「とてもおいしかった。全部手作りであれしい、来年もまたやってほしい」と感想を話しました。

① 紙袋出荷の方について 玄米皆掛重量が「30.5kg」に 変更になります。

紙袋出荷の方については、
袋詰めの際にはご注意願います。
在庫でお持ちの紙袋の皆掛重量訂正がまだの方は、
JAで訂正対応いたしますので、最寄りの各支店、
経済センター等へ紙袋をお持ち込み下さい。

**訂正は農産物検査員しか
出来ませんので、
生産者の皆様での訂正は
絶対にしないで
下さい。**

② 「1.90mmふるい目」で調製し 出荷されたお米について 買取価格に価格差を設けます。

JALしまねでは「1.90mmふるい目」の
導入をすすめています。

このことにより、主要銘柄である
「コシヒカリ」、「きぬむすめ」、「つや姫（特別栽培米）」
において1等格付けされたもののうち

**「1.90mmふるい目」仕様のお米については
価格差を設けます。**

※カントリーエレベーター、各ラ
イスセンターでは「1.90mm
ふるい目」を設置しています。
これらの施設を利用し出荷され
た1等米については自動的に価
格差が設けられます。



ご不明な点がありましたら、
米穀課
☎0856-23-1911
まで、お問い合わせください



水稲

平成29年産米刈取り講習会スケジュール

月日	時間	地区	場所
8/7(月)	9:30~	安田	下遠田お宮前
	11:00~	安田	津田分遣所前
	13:30~	北仙道	北仙道農事組合法人倉庫前
	15:00~	種	種事務所
8/8(火)	9:30~	西益田	小俣賀ゲートボール場
	11:00~	西益田	白岩多目的集落センター
	13:30~	西益田	向横田 椋木昭雄様ハウス前
	15:00~	西益田	大滝集会所前
	9:00~	津和野	山下倉庫前
	10:30~	津和野	倉増氏圃場前
	13:30~	日原	日原コイン精米所前
8/9(水)	9:30~	六日市	六日市ントリーエレベーター
	11:00~	六日市	朝倉東営農組合作業場
	13:30~	六日市	広石上集落営農組合作業場
	15:00~	六日市	樋口地区集会所前
8/10(木)	9:00~	美濃	美濃地区公民館
	11:00~	二条	二条事務所会議室
	13:30~	中西	中西支店 会議室
	15:00~	小野	戸田：四ツ辻圃場付近
	10:00~	柿木	白谷 白谷公民館付近
8/17(木)	9:30~	北仙道	赤雁の里
	11:00~	鎌手	旧鎌手支所
8/22(火)	10:00~	真砂	真砂事務所

※美都・匹見地区については別途ご案内いたします



メガネのタナカ

出張訪問サービス



出張無料

サービス内容 **メガネ・補聴器の販売、調整**

※訪問日時につきましてはご相談の上、調整させていただきます。

メガネ・補聴器で困っているけど、お店に行く時間がない等、お悩みの方へ「出張訪問サービス」を実施しております。お気軽にJA窓口までお申し付けくださいませ。

西いわみ地区本部 組合員の皆様へ

8月 巡回展示日程

- 2日 柿木支店
- 7日 日原支店
- 9日 匹見支店
- 15日 ラーバン
- 22日 日原支店
- 23日 匹見支店

※開始時間は午前9時からとなっております。
 ※各支店の終了時間はJA様へお問い合わせ願います。尚、展示終了後に「ご自宅訪問」を行います。是非、ご連絡頂きお時間の調整をご相談くださいませ。

にいわみひろば

読者の川柳

誠に勝手ながら7月号のにいわみひろばはお休みとさせていただきます。

9月のお題は「涼」です
応募お待ちしております

川柳
応募方法

- 葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。
- 締切 平成29年8月18日(当日消印有効)
- あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1
JAしまね 西いわみ地区本部 企画管理部 ふれあい課



西いわみ地区本部からのおしらせ



人事異動

() 内は旧部署
平成29年6月1日付

異動

営農経済部 指導販売課

石川 主税

(企画管理部総務課付)

日原支店 金融共済課

松田 篤

(企画管理部総務課付)

六日市支店 金融共済課

岡本 悠

(企画管理部総務課付)

8月の無料年金相談会～お気軽にご相談を～

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をご持参いただきますと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽に相談でき、秘密は固く守られます。どうぞ、お近くの会場にお越しください。

8月の年金相談会

☆西いわみ地区本部金融部年金相談センター☆
(0856-22-8680) は、
平日 (8:30～17:00) いつでも
ご相談いただけます。

10日(木)	西 益 田 支 店	午後3時～午後7時	波田社会保険労務士
24日(木)	日 原 支 店	午後3時～午後7時	J A 年 金 相 談 員

※日程・社会保険労務士は変更になる場合があります。

各支店でみどりのカーテンに取り組んでいます!

営農
経済部



中西支店



中吉田
出張所



益田東
支店





秋から春先まで、 新鮮な味と 栄養価が魅力的な ブロッコリー

板木技術士事務所 ● 板木利隆

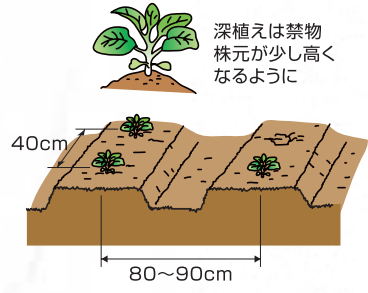
抗がん作用が高いと注目される野菜です。カロテンとビタミンCが豊富で、免疫力アップや抗ストレス効果も。カリウム、鉄、クロムなどのミネラルも含まれています。

家庭菜園で秋から早春まで長く取り続けるには、品種選びが大切です。頂花蕾（ちょうからい）だけでなく、側花蕾（そくからい）も取れる「頂花蕾側花蕾兼用」品種がおすすめです。

種まきの適期は7月中旬です。育苗期は高温期に当たりますが、秋の生育適温下で最大成長するので育てやすいのです。頂花蕾は10月下旬、側花蕾は10月下旬から3月ころまで長期間収穫できます。

育苗は128穴のセルトレイ、少ない本数で良ければ3号ポリ鉢に3~4粒まきとし、育つにつれて逐次間引きし、1本立てにします。

セル育苗では本葉3~4枚、鉢育苗ではやや大きく本葉5枚ぐらいの苗に仕上げ、本畑に植え付けます。育苗期間は暑い盛りなので、苗はできるだけ風通しの良い、涼しい場所を選び、強光時にはよせず、遮光ネットなどで覆い、灌水（かんすい）は朝夕にたっぷり与えるなど、常に目配りし、入念に管理しましょう。



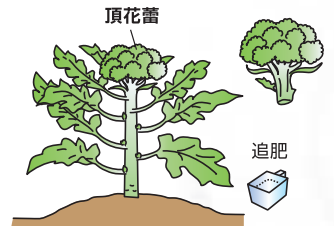
保水力のある有機質に富む土壌を好むので、植え付ける畑には少なくとも半月ぐらい前に、植え畝の中央部に、くわ幅10~12cmの溝を掘り、良質の堆肥と油かす、化成肥料を長さ1m当たり堆肥5~7握り、油かす大さじ7杯、化成肥料同5杯ぐらいを施します。成長が盛んになったら月2回ぐらい、化成肥料を1株当たり大さじ1杯ぐらい追肥します。頂花蕾を収穫したときには多めに追肥し、側花蕾の発達を促します。

根は湿害に弱く、秋の多雨による病害の発生の恐れがあるので、株元が低くならないよう、特に多雨後の排水に注意してください。

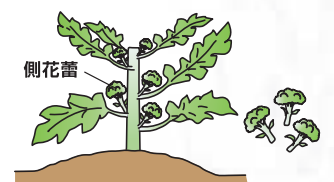
茎の太さの割に草丈が高くなるので、風当りの強い所では小支柱を立てて転倒を防止しましょう。

頂花蕾は径12~13cmぐらいで収穫します。茎を長く付け過ぎると側花蕾の数が減るので、短く切り取ります。側花蕾は大きくはなりません。径4~5cmほどで収穫します。いずれも蕾（つぼみ）が大きく膨らむと品質を損ねますので、緑が濃く花蕾が締まっているうちに収穫します。

アブラナ科の野菜は、苗のうちからアブラムシ、コナガ、アオムシや黒斑病、軟腐病などにやられるので、早期に発見、適農薬を散布して防ぎましょう。



株の周りに追肥して勢いをつけ、良い側花蕾を出させる



小さいがまとめて使えば味に遜色はない

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

タテのカギ

- ②小玉や種なし、四角い物などもある果実
- ⑤縁も——もない人に助けられた
- ⑦117に電話をかけると聞けます
- ⑨ロシアの酒の代表格
- ⑪ワインボトルの底に沈んでいることも
- ⑫オランダゼリともいう葉野菜
- ⑬木などにぼっかりと開いた空洞
- ⑯国語、算数、理科、社会など
- ⑰コンニャクイモの生産量日本一の県
- ⑲目上の人に勧める席
- ⑳アンデス、プリンスといえ

ヨコのカギ

- ①もくもくと高く盛り上がる雲
- ②洋風の上履きの一つ
- ③食事作りや掃除、洗濯など
- ④武田信玄から連想される四字熟語
- ⑥目や鼻や口があります
- ⑧酔うと赤くなる人も
- ⑩古い地層から恐竜の——が見つかった
- ⑬和風の宿泊施設です
- ⑮——より証拠
- ⑰日本列島をぐるりと取り囲んでいます
- ⑲歩き過ぎて足の裏にできちゃった

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	9		14	18	
			B			
	6			15		D
2			12		19	21
		10		16		
			C			
3	7		13		20	
	8	11		17		
4						E

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒698-0024 益田市駅前町15-1
JAしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成29年8月5日（土）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆
「カブトムシ」

ユ	カ	タ	ミ	ア	イ
ウ	カ	ウ	ツ	シ	エ
シ	オ	ド	キ	タ	イ
ヨ	ア	ブ	ラ	ニ	
ク	ラ	ク	チ	バ	シ
ム	シ	ロ	ソ	ヤ	
キ	ネ	ン	ボ	ト	

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

健康散步 JA島根厚生連

水中ウォーキングで夏だって気軽に運動

日々、暑さと戦う季節になりましたね。暑さをアイスクリームや冷えたビールなどでごまかしてみても、気の紛れるのはその一瞬だけ。冷房の効いた部屋の中でついついゴロゴロして夏太り……。ここは一気に夏バテと暑さの両方を解消しちゃいましょう。涼しくなって、健康になる。おまけにシェイプアップも出来ちゃうかも!? こんなおいしい話というのは行水と健康づくりを兼ねた水中運動をすることです。中でも泳ぐのは苦手という方も気軽にできる水中ウォーキングはいかがですか？

水中ウォーキングは、地上でのウォーキングに比べ水の浮力のおかげで体重が最大70%も軽くなると言われており、膝や腰への負担が大きく軽減されます。さらに、水の抵抗がかかるために普通に歩くよりも消費カロリーが多くなるのも嬉しいところ！

水中ウォーキングでの注意点は、水の抵抗を受けるために、上半身が反り返りやすくなること。これを防ぐには腹筋を締めて上半身をやや前傾にして歩くようにしましょう。そして、下半身は膝を少し曲げて重心を落とし、足裏全体で水底をつかむように踏ん張って歩きます。腕もクロールのように前から後ろへ水をかくことで前方へ進みやすくなります。水底は滑りやすいのでスリッパに注意してください。

また、水中運動の場合でも、運動量が多いときは体温が上昇し発汗しています。水分不足にならないように水分補給を心がけてください。

楽しく続けるためには、最初はやや楽に感じる、物足りない程度からスタートし、徐々に時間を伸ばしていくことが大切です。暑いこの季節には、水中が気持ちよくついつい時間が長くなったり、浮力で楽に歩けるので歩き過ぎになつたりと、過疲労にならないことがあるので、少しずつ自分の体と相談をしながらはじめましょう。水中ウォーキングで暑さを紛らわし、暑さに負けない体作りをしてみませんか？



理事会情報 (5月30日開催)

監査報告

平成28年度決算監事監査報告について

協議事項

- ①平成29年度国庫及び県単補助事業の実施について(追加)
- ②大口貸出金の承認について
- ③体制整備基準における「効率化店舗」の設置・運営に係る要項設定について
- ④島根県常例検査書の回答について
- ⑤JA全国監査機構による期中改善指示事項(期中監査)に対する回答について
- ⑥組合と理事との取引(契約)の承認について
- ⑦経理規程の一部改正について
- ⑧平成28年度決算の承認について
- ⑨第3回通常総代会への附議議案について
- ⑩本店子会社等の役員への役員職員の推薦について

- ⑦プロジェクト)の取組みについて
- ⑧米穀園芸情勢について
- ⑨第11回全国和牛能力共進会出品対策について
- ⑩鳥根県牛牛公正取引条例の見直しに係る対応について
- ⑪雲南畜産総合センターの平成28年度末実績報告及び地区本部損益配賦について
- ⑫第2期生産資材価格低減プロジェクト(飼料部門)中間とりまとめについて
- ⑬JA西日本くみあい飼料(株)倉敷工場の稼働について
- ⑭畜産情勢について
- ⑮平成29年度秋肥価格(6-10月)について
- ⑯生産資材価格低減プロジェクトについて(第2期中間報告)
- ⑰第7回農機総合展示会開催企画について
- ⑱金融円滑化にかかる貸出条件変更等の実施状況について
- ⑳平成28年度防犯カメラ寄贈について(全共連事業)
- ㉑平成28年度カーブミラー寄贈について(全共連事業)
- ㉒組合と理事との取引(契約)の報告について
- ㉓事務ミス報告について
- ㉔自主検査実施報告について
- ㉕コンプライアンス実践状況について
- ㉖平成28年度における統合メリットについて
- ㉗平成29年4月主要実績について
- ㉘子会社等の現況一覧について
- ㉙鳥根中酪の株式会社化に伴う財務確認について
- ㉚第3回通常総代会当日の対応について
- ㉛平成29年6月1日付け本店人事異動について
- ㉜監査(第4四半期)報告書について
- ㉝平成28年度業務活動報告書について
- ㉞その他① 鳥根県系統農協・警察防犯対策協議会業務推進状況について
- ㉞その他② 農政をめぐる情勢について
- ㉞その他③ 青年・女性理事 活動報告等

報告事項

- ①平成28年度農業戦略実践3カ年営農計画進捗状況について
- ②ふるい目更新に伴う県単事業・JA支援事業の活用について
- ③農業経営管理支援事業(経営コンサル)の平成28年度総括および平成29年度実施計画について
- ④県域担い手サポート事業に係る取り組み状況報告(第4四半期)
- ⑤農業防災保険の加入状況について
- ⑥平成29年度産島根米食味向上(特A獲得重点

- ⑦プロジェクト)の取組みについて
- ⑧米穀園芸情勢について
- ⑨第11回全国和牛能力共進会出品対策について
- ⑩鳥根県牛牛公正取引条例の見直しに係る対応について
- ⑪雲南畜産総合センターの平成28年度末実績報告及び地区本部損益配賦について
- ⑫第2期生産資材価格低減プロジェクト(飼料部門)中間とりまとめについて
- ⑬JA西日本くみあい飼料(株)倉敷工場の稼働について
- ⑭畜産情勢について
- ⑮平成29年度秋肥価格(6-10月)について
- ⑯生産資材価格低減プロジェクトについて(第2期中間報告)
- ⑰第7回農機総合展示会開催企画について
- ⑱金融円滑化にかかる貸出条件変更等の実施状況について
- ⑳平成28年度防犯カメラ寄贈について(全共連事業)
- ㉑平成28年度カーブミラー寄贈について(全共連事業)
- ㉒組合と理事との取引(契約)の報告について
- ㉓事務ミス報告について
- ㉔自主検査実施報告について
- ㉕コンプライアンス実践状況について
- ㉖平成28年度における統合メリットについて
- ㉗平成29年4月主要実績について
- ㉘子会社等の現況一覧について
- ㉙鳥根中酪の株式会社化に伴う財務確認について
- ㉚第3回通常総代会当日の対応について
- ㉛平成29年6月1日付け本店人事異動について
- ㉜監査(第4四半期)報告書について
- ㉝平成28年度業務活動報告書について
- ㉞その他① 鳥根県系統農協・警察防犯対策協議会業務推進状況について
- ㉞その他② 農政をめぐる情勢について
- ㉞その他③ 青年・女性理事 活動報告等

知って納得JA

—協同組合の力—

Q JAは何をしている協同組合なの?

A 農業を中心に、地域住民のくらしをより良くするための事業を行っています。

JAは「農業協同組合」なので、地域農業を発展させ、組合員のくらしを守り高めることが最も重要な目的です。農業の生産力を高め、農業所得を向上させるため、営農技術の指導の他、安全で品質の良い肥料や農薬、農機具などを適正な価格で提供するなど、農家を総合的に支えています。

JAでは「農業」を農地、食べ物、地域のくらしや環境なども含めて広い意味で捉えます。学校給食への農産物の提供や農業体験などを通じて地産地消を促し、農業と食・くらしをつなげています。信用・共済事業の他、高齢者福祉事業なども行い、地域にくらす人々の生活をより良いものにするこことで、地域の活性化に貢献しています。

(監修=広島大学 助教 小林元)

JAが行っている主な事業

指導事業



農家にアドバイスをする仕事です。職員が農家のもとに出向き、おいしくて安全な農産物の作り方や家畜の育て方、農業の経営などについて相談にのっています。

販売事業



農産物などを販売する仕事です。農家から集めた農産物を共同で市場に出したり、直売所で販売したりしています。農産物を適正な値段で販売することは、農家の経営を支えるためにとても大事なことです。

購買事業



質の良い物をまとめて買って分ける仕事です。共同購入のしくみで、安全で品質の良い肥料や農薬、家畜の餌、農業機械、くらしに必要な物を計画的にまとめて買うことで、組合員は安定的に購入することができます。

信用事業



組合員からお金を預かり(貯金)、それぞれの組合員が必要などきに、借りることができる(貸付)ようにするなどの仕事です。集まったお金は組合員の農業やくらしのために役立てられ、地域の金融機関として大切な役割を果たしています。

共済事業



組合員やその家族、地域の人々が安心してくらすための仕事です。組合員はあらかじめ一定の「共済掛金」を拠出して共同の財産を準備し、火事や病気、自動車事故などが生じた場合に「共済金」を支払います。

耕そう、大地と地域のみらい。

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査
ハチ
駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店・
支所にお問い合わせ
ください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

株式会社 **コダマサイエンス**

■本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■江津営業所 / ☎0855-52-6852

■益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■隠岐営業所 / ☎08512-2-2471

そなえていますか?

クミアイのおくすり



かぜ、胃腸の不調、小さなケガや
軽い症状は自分で治しましょう。

それが、**セルフメディケーション**です。

(自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること)



「クミアイ家庭薬」のメリット

- 使った分だけ後払い、家計にやさしく経済的!
- 期限の切れそうな薬も、**無料**でお取り替え
- 季節やご家族のニーズに合わせて補充
- 災害など緊急時にも安心の常備薬!
- クミアイ家庭薬で「明日はもっと健康に」



クミアイ家庭薬

お問
い合
わせ
先

JAしまねの各支店 または

協同薬品工業(株)島根営業所 ☎0853-73-7430

JAグループ

きゅうりと鶏むね肉の中華風



電子レンジを使いサツとできあがります。熱い夏に酢とごま油であっさりした味なので、いくらでもキュウリがおいしく食べられる一品です。きゅうりは、ほった体を冷やしてくれます。

●材料 (4人分)

鶏むね肉	1枚 (約300g)	醤油	大さじ1
塩、こしょう	適量	酢	大さじ1
酒	大さじ1	ごま油	大さじ2/3
きゅうり	2本	黒ごま	大さじ1

●作り方

- ①きゅうりは3~4等分に切り、縦に4等分の棒状に切り、塩を少し置き、水洗いして水気を絞る。
- ②鶏肉に塩、こしょう、酒をふりラップをしてレンジに5~6分かける。火が通ったら手で一口大にさく。
- ③ボールに調味料を合わせ、鶏肉を混ぜ込み味をなじませてから、きゅうりを入れ和える。

トマトつけだれ・そうめん



トマト入りのそうめんつゆなので、色が綺麗でトマトの旨みも加わり、そうめんがいくらでも食べられます。洋風イメージのあるトマトを、和風でさっぱりといただける涼麺メニューです。

●材料 (4人分)

そうめん	6~8束	トマト	中4個
きゅうり	少々	水	400ml
薬味		ほんだし	小さじ1
大葉	5枚	みりん	大さじ4
みょうが	2~3個	しょうゆ	大さじ3
おろししょうが	少々	塩	小さじ1
白ごま	少々		

●作り方

- ①トマトは皮を湯むきして種を取り1cm角に切る。
- ②水、ほんだし、しょうゆ、みりん、塩を沸騰させ火を切り冷ます。
- ③冷えたらトマトを入れ冷蔵庫に入れ冷やす。
- ④きゅうりは千切りにする。
- ⑤みょうが、大葉は千切りにして薬味にする。
- ⑥そうめんをゆで、皿に盛りキュウリを添える。
- ⑦薬味とトマトダレをつけて食べる。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、島根県西部を流れる高津川の鮎釣りの様子です。高津川は、水質日本一に何度も選ばれている全国屈指の清流で、日本で唯一ダムが無い一級河川としても有名です。また、高津川の鮎は薫り高く美味しく人気があり、シーズンには全国から釣り人が訪れます。

編集後記

今月の表紙に描いて頂いた鮎釣り。私の父も昔から鮎釣りをしており、子供の頃からいつも食べさせてもらっていました。塩焼きや背ごし(刺身)、鮎ご飯など、とても美味しいですね。私も一度だけ友釣りに挑戦しましたが、難しいものでした。(藤)



【今月の表紙の原画】
原画の全体は次のとおりです。